

2024年度 デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ) 事業検証シート

交付対象事業	農業×商工×観光連携によるたわらもとフード・ラボ事業
事業開始年度	2022年度(3年目)

事業検証

事業内訳	当初計画事業費(円)	確定事業費(円)	交付金(円)
農地を活用した地域づくり支援事業	300,000	0	0
特産品等開発支援事業	1,500,000	500,000	250,000
たわらもとフード・ラボ事業	3,000,000	2,688,015	1,344,007
計	4,800,000	3,188,015	1,594,007

事業名	農地を活用した地域づくり支援事業	担当課	かせぐ地域課
事業内容	農地を活用した地域の交流事業を実施する団体等を対象に、町民と町外の住民の交流が見込まれる事業であることなどの条件の下で、交流事業に要する費用の1/2(上限100千円)を補助		
事業評価	進捗状況	交流事業を実施する意向のある農業者等に制度説明を行った。	
	事業効果	補助の要件に合致する団体、取組がなかった。	
R7年度以降の方向性	事業終了		

事業名	特産品等開発支援事業		担当課	かせぐ地域課
事業内容	町内の加工事業者等を対象に、町内で生産された原材料を使用することなどの条件の下で、特産品等開発に要する費用の1/2(上限500千円)を補助			
事業評価	進捗状況	歯ブラシの新商品の開発、販売促進の取組を支援。		
	事業効果	自社ECサイト、町ふるさと納税等で販売中。WEB広告では延べ76万回以上表示され、商品やブランドの認知度向上に寄与した。		
R7年度以降の方向性	事業終了			

事業名	たわらもとフード・ラボ事業		担当課	かせぐ地域課
事業内容	令和4年度に設立した新組織「たわらもとフード・ラボ(仮)」に対し、地域の食材や食文化の勉強会の開催や、ヤマトファームtoテーブル(生産者と消費者のマッチングなどの機能を有する場)検討等に要する費用を補助			
事業評価	進捗状況	町内の生産者と連携し、米粉の新商品を開発。 町産農産物の利用促進に向け、町内生産者と飲食店事業者との交流機会や住民向けの料理教室を開催。		
	事業効果	米粉や味間いもの消費拡大に寄与することができた。		
R7年度以降の方向性	町事業として学校給食での町産農産物の活用など、地産地消の推進に取り組む。			

KPI		事業開始前	2022年度	2023年度	2024年度
高収益作物転換支援により収益が増加した農業者数(人)	目標値	-	3	8	13
	実績値	0	3	7	7
農地を活用した地域づくり交流事業への参加人数(人)	目標値	-	30	80	140
	実績値	0	0	0	0
特産品等開発支援件数(件)	目標値	-	3	6	9
	実績値	0	1	2	3
たわらもとフード・ラボを通じた生産者と料理人等のマッチングによる新規商品(メニューを含む)開発件数(件)	目標値	-	3	9	21
	実績値	0	1	5	12

KPI	高収益作物転換支援により収益が増加した農業者数(人)	担当課	かせぐ地域課
評価	/		
R7年度以降の方向性	/		

KPI	農地を活用した地域づくり交流事業への参加人数(人)	担当課	かせぐ地域課
評価	補助制度の申請がなかったため、未達となった。		
R7年度以降の方向性	/		

KPI	特産品等開発支援件数(件)	担当課	かせぐ地域課
評価	補助制度の申請が少なかったため、未達となった。		
R7年度以降の方向性	/		

KPI	たわらもとフード・ラボを通じた生産者と料理人等のマッチングによる新規商品(メニューを含む)開発件数(件)	担当課	かせぐ地域課
評価	新しい品種の米を使用し、製粉方法を見直した米粉商品を開発した。さらに、これを使用したパンや麺のほか、味間いもと米粉のドーナツなどのメニュー開発を行った。また、情報発信と利用促進の取り組みとして料理教室を実施。		
R7年度以降の方向性			

2024年度 デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ) 事業検証シート

交付対象事業	飛び地型自治体連携による若者から90歳代の後期高齢者の全てが生きがいを持って過ごせるための健幸まちづくり事業
事業開始年度	2020年度(5年目)

事業検証

事業内訳	当初計画事業費(円)	確定事業費(円)	交付金(円)
社会参加型健幸ポイント事業	49,873,000	33,399,387	16,699,693
事業評価	6,050,000	6,050,000	3,025,000
計	55,923,000	39,449,387	19,724,693

事業名	社会参加型健幸ポイント事業	担当課	長寿介護課
事業内容	成果連動型委託契約のもと、事業規模を1.4万人規模に拡大かつ、KPIで掲げる5年目の医療費・介護給付費抑制につながるための継続支援を強化。中間支援業務として各市町のKPI達成に向けた年度計画の策定支援、資金調達モデルの試行し、さらに5年間の全体評価を行う。また、5年間の医療費・介護給付費の抑制効果をふまえ6年目以降の自立化に向けた取り組みを行う。		
事業評価	進捗状況	令和6年度 1928名の参加(20歳以上の町民)	
	事業効果	新規参加者の参加前の一日の歩数が5,000歩未満の割合は61%であったが、3ヵ月目以降の平均では34%にまで減少し、2,000歩～4,000歩台の層が4,000歩～6,000歩台へと移行する傾向が確認された。 運動不十分層のうち推奨歩数達成もしくは1,500歩以上増加した者の割合約53%	
R7年度以降の方向性	令和7年度健幸ポイント事業は対象年齢が65才以上の介護予防を目的とした事業へリニューアルした。(令和6年度事業からの対象者継続参加率約90%) 64才以下の方についても、無料アプリに移行することで民間サービスとしてこれまでのデータを引き継ぐとともに測定コーナーの利用も可能。		

事業名	事業評価	担当課	長寿介護課
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・レセプト・健診データをもとにした2年間の医療費・介護給付費抑制効果の検証 ・アンケート調査設計・分析作業、・モニタリングデータの分析 ・5年間全体評価 		
事業評価	進捗状況	令和7年度についても、歩数等のモニタリングデータやアンケート等を分析し、効果を図る。	
	事業効果	歩数の変化や体組成等のモニタリングデータの分析などを行うとともに、アンケート調査を実施し、Well-Being指標の改善向上効果など多角的な分析を実施。医療費・介護給付費抑制効果分析では医療費と介護給付費の抑制効果について分析。	
R7年度以降の方向性		令和7年度についても、歩数等のモニタリングデータやアンケート等を分析し、事業の効果を図る。	

KPI検証

KPI(広域)		事業開始前	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
医療費・介護給付費の抑制額(百万円)	目標値				700	950	1,180
	実績値				735	968	1,338
健幸ポイント事業の参加者数(人)	目標値	-	5,500	7,810	9,980	12,180	14,270
	実績値	2,750	5,048	7,820	10,103	11,426	12,270
80～90歳代の健幸ポイント事業の参加者数(人)	目標値	-	800	1,200	1,500	1,830	2,130
	実績値	300	633	910	1,279	1,543	1,820
健幸ポイント事業での健幸アンバサダー等のボランティア活躍人数(人)	目標値		600	1,200	1,700	1,900	2,500
	実績値		1,062	1,479	2,031	2,846	2,593

KPI(田原本町)		事業開始前	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
医療費・介護給付費の抑制額(百万円)	目標値				146	202	248
	実績値				116	289	215
健幸ポイント事業の参加者数(人)	目標値	-	500	1,200	1,830	2,150	2,440
	実績値	0	512	1,200	1,830	1,888	1,928
80～90歳代の健幸ポイント事業の参加者数(人)	目標値	-	75	180	275	323	366
	実績値	0	83	159	235	259	293
健幸ポイント事業での健幸アンバサダー等のボランティア活躍人数(人)	目標値		100	200	300	400	500
	実績値		178	187	345	315	338

KPI	医療費・介護給付費の抑制額(百万円)	担当課	長寿介護課
評価	令和2年度から4年間継続参加している40歳以上の参加者240人と非参加者722人を比較したところ、参加者の医療費と介護給付費は非参加者より年間約17万3千円低いという結果が得られた。(75才以上で比較すると28.5万円低い)		
R7年度以降の方向性	令和4年度と令和6年度の医療費・介護給付費の抑制効果分析の、高齢者に効果が出ているという結果を踏まえ、令和7年度からはより効果の出やすい高齢者に対象を絞った介護予防事業として継続実施していく。		

KPI	健幸ポイント事業の参加者数(人)	担当課	長寿介護課
評価	田原本町では、目標人数2,440人に対し、1,928人と未達成		
R7年度以降の方向性	令和7年度より対象者が65歳以上となり64才以下は対象外となる。引き続き、ポスター掲示、チラシ配布、広報紙やホームページなどで新規参加者募集のアピールを行う。		

KPI	80～90歳代の健幸ポイント事業の参加者数(人)	担当課	長寿介護課
評価	田原本町では、目標値である15%に対し、12%と未達成。		
R7年度以降の方向性	介護予防事業の位置づけで事業を行うことから、引き続き80歳以上の方に多く参加していただけるような周知を実施する。		

KPI	健幸ポイント事業での健幸アンバサダー等のボランティア活躍人数(人)	担当課	長寿介護課
評価	田原本町におけるアンケート回答者746人のうち338人(45.3%)が「参加している」と回答。「参加している」と回答した参加者は4市町合計で2,593人		
R7年度以降の方向性	社会参加と医療費・介護給付費やWell-being指標は密接に関係することから、令和7年度事業においても特に後期高齢者に積極的に参加してもらえるよう周知を実施する。		